




稲穂

小樽市立稲穂小学校
 学校だより No.3
 令和8年 5月28日
 文責 校長 及川 年彦

【学校の教育目標】
 りこうで たっしやで ほからかな 稲穂の子
 稲穂小 WEB


「子どもたちのさらなる成長を期待して ～開校131年目の運動会～」

校長 及川 年彦

開校131年という節目の年、本校はこれまでの歴史を大切に受け継ぎながら、新たな一步を踏み出しました。長い年月の中で育まれてきた学校のよさを礎としつつ、これからの時代にふさわしい学びや関わりをつくっていくことが、今の学校には求められています。今年度5月30日(土)開催の運動会は、そうした新たなスタートの思いを形にする大切な機会といえます。

今年度の運動会テーマは、児童会が中心となって考えた「全力！協力！～みんなが笑顔あふれる運動会～」です。このテーマには、一人一人が自分の力を精いっぱい発揮するとともに、仲間と支え合いながら取り組み、みんなで充実した時間を作り上げたいという願いが込められています。子どもたち自身が考えた言葉には、これからの学校生活をよりよくしていこうとする前向きな意欲が表れています。この意欲は運動会の練習でもたくさん見られました。「それぞれの場面で自分がどう行動すべきかを考えている」「高学年が低学年の頑張りを認めてあげる」「競技に負けてもあきらめず、どうすれば勝てるだろうと改善点を考えている」……。



子ども達は、このように運動会などの行事を通して大きく成長します。練習の中では、思うようにできずに悩むことや、仲間と考えをすり合わせる難しさに直面することもあります。しかし、その一つ一つを乗り越えていく過程で、自分の役割に気付き、友だちのよさに目を向け、集団の中で力を発揮する喜びを学んでいきます。本番で見せる姿は、その積み重ねの結果であり、子どもたちの確かな成長の証です。

本校では今年度、『より良いものを作り出すために協働できる子ども』を目指しています。競技や表現だけでなく、応援や係活動など様々な場面で、子どもたちは互いに関わりながら一つの行事を作り上げていきます。仲間と声を掛け合い、励まし合う経験は、思いやりや責任感を育てるとともに、「みんなで取り組むことのよさ」を実感する機会となります。

そして、運動会で得た学びは、その日限りのものではありません。仲間と力を合わせた経験や、最後までやり抜いた達成感は、これからの日常の学習や生活の中に生かされていきます。学級や学年での活動においても、自ら考え、協力しながらより良いものを作ろうとする姿(主体性×協働性)へとつながっていくことを期待しています。

開校131年目の新たな歩みの中で迎える本運動会が、子どもたち一人一人にとって次の成長へとつながる機会となり、「全力」と「協力」によって生まれる笑顔が、これからの学校生活をさらに豊かなものにしていけるよう全教職員で取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様には、5月30日(土)にぜひご来校いただき、子どもたちのひたむきな姿を温かく見守っていただければ幸いです。

「いじめ見逃し0(ゼロ)」に向けて

例年、本市では6月中旬から7月下旬にかけて、「子どもたちの安心・安全を守るキャンペーン」が行われます。詳細については、後日テトルや学校 HP にてお知らせします。

さて、いじめ防止対策推進法第2条にある『いじめの定義』は次の通りです。

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

つまり、たとえ行為をした側に悪意がなかったとしても、受けた側が傷ついたり、不安や恐怖を抱いたりしていれば、それはいじめにあたります。大切なのは「何をしたか」でなく、「相手がどう感じているか」という視点です。

いじめは、悪口やからかい、無視、仲間はずれといった日常の中だけでなく、SNS やオンライン上のやり取りなど、見えにくいところでも起こります。そのため、ご家庭においても、お子様の表情や言動の変化に気を配っていただくことが重要です。「元気がない」「学校の話をしなくなった」など、些細な変化が大切なサインとなる場合があります。

本校では、『いじめ見逃し0(ゼロ)』を合言葉に、いじめを決して見過ごさない姿勢を全教職員で共有し、心理的安全性の高い学校づくりを進めています。子どもたちが安心して自分の気持ちを表現でき、互いを尊重し合える環境を整えることが、いじめの未然防止につながると考えています。

いじめの問題は、学校だけで解決できるものではなく、家庭との連携が不可欠です。何か気になることがありましたら、どんな小さなことでも構いませんので、早めに学校へご相談ください。子どもたち一人一人の安心と健やかな成長を守るため、保護者の皆様とともに取り組んでまいります。

本校のいじめ防止基本方針は
こちらから →



本校の児童版のいじめ防止基本方針は
こちらから →



「留め置き訓練」を実施しました！

5月18日(月)に、「児童が自ら、及び他者の安全確保のための行動について主体的に考えるとともに、児童の安全を確保し、確実に保護者へ引き渡す。」ことを目標として今年度も訓練を実施しました。学校で不審者が侵入した時に大切なことは、「おしゃべりをしない」「先生の指示を聞くこと」「落ち着いて行動すること」です。警察の方からの講評や今回の訓練の様子から、子どもたちの防犯への意識が確実に高まった留め置き訓練となりました。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。



先生方で不審者対応をしていました

小中一貫教育第1回全体会がありました！

5月19日(火)に西陵中学校、稲穂小学校の全教職員が本校体育館に参集し、小中一貫教育に関わる第1回全体会がありました。本校区では、『地域とともに、主体的に学び、協働し、未来を切り拓く児童・生徒の育成』を共通の目標として掲げ、9年間を見通した教育の充実に取り組んでいきます。

その実現のためには、「授業観・生徒指導観の共有」とともに、児童・生徒、そして保護者や私たち教職員が、その成果や子どもたちの変容を実感できることが何より重要です。加えて、中学校と小学校がこれまで以上に連携し、日々の授業や生徒指導、交流活動を通して「つながり」を意識した取組を積み重ねていくことが、子どもたちの安心感や学びの連続性につながります。



今回の全体会やその後の部会での協議では、上記のことが全教職員で共有することができ、私たち教職員自身が小中一貫の手応えを実感できる一年のスタートとすることができました。

グランドデザイン
はこちらから →

